

(看護研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院 NICU・GCU で勤務している看護師のみなさま

今回、2023年度に和歌山県立医科大学附属病院 NICU・GCU で勤務した看護師の手指消毒剤の使用量の違いによる手指衛生行動の差異について看護研究を実施します。手指消毒剤の使用量や手指衛生の直観察などを振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という看護研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。感染対策の一環として実施していた手指衛生の遵守状況のデータを用いておこなう研究であり、費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう対象者を暗号化し、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、看護研究への参加を望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

手指消毒剤使用量の違いにおける手指衛生行動の差異についての後ろ向き調査研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院 9階東病棟 副看護師長 小谷 智美

3. 研究の目的

NICU・GCU は薬剤耐性菌が伝播しやすい環境であり、容易にアウトブレイクしやすい特徴があります。そのため、適切な手指衛生を実施することで薬剤耐性菌の伝播を遮断することが必要です。手指消毒剤の使用量には個人差がある現状です。そこで、使用量と手指衛生行動の関係性の有無を明らかにしたいと考えています。

4. 研究の概要

(1) 対象者

2024年1～3月にNICU・GCUで勤務した看護師を対象とします

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、手指消毒剤の使用量のデータと手指衛生の遵守状況をチェック実施した結果です。その他、経験年数などの属性のデータです。

(3) 方法

直接観察の結果を、カイ二乗検定もしくはフィッシャーの直接確立検定で解析をおこないます。

(4) 研究期間

研究機関の長による研究実施許可日～5年間

5. 個人情報の取扱い

個人を特定できないようデータの収集をおこないます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その場合も個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

看護研究は看護の質向上にむけた学術活動ですが、自身の情報を望まない場合はこれを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、職務上の待遇において不利益を被ること一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

なし

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学 9階東病棟 副看護師長 小谷智美

TEL：073-441-2300(内線 2910)

E-mail：s-kotani@wakayama-med.ac.jp